

<単元>地球に生きる(教科書6年.186~p.193)

<問題> これからも、人が地球でくらし続けるために、自分たちに何ができるだろうか。

1 教科書188ページから189ページまでを読んで人と環境とのかかわりを確認しましょう。

- ・電気の多くは、化石燃料を燃やす火力発電でつくられる。
- ・自動車は、ガソリンや軽油などを燃やして走る。
- ・調理をするためにガスなどを燃やす。
- ・開発などによって、多くの木を切っている。
- ・工場では、さまざまに水を利用する。
- ・いろいろな物を洗うときに、水を使う。
- ・火山が噴火すれば、火山灰などで建物がおおわれることがある。
- ・地震が発生すれば、道路がくずれることがある。

2 教科書190ページから191ページまでを読んで「これからも、地球でくらし続けていくために、人は、どのようにくふうをしたり、努力をしたりしているか」をまとめましょう。

(1) 環境におよぼすえいきょうを少なくするためのとり組み

(2) 環境を守るためのとり組み

(3) 地球の活動によって受けるえいきょうを少なくするための取り組み

3 学校や地域^{ちいき}など、身近なところで行われている2(1)～3(3)と同じような内容の取り組みがあるかを
まとめたうえで、これからも、人が地球でくらし続けるために、自分たちに何ができるかを考えよう。

(1) 学校や地域^{ちいき}など、身近なところで行われている2(1)～3(3)と同じような内容の取り組み

(2) これからも、人が地球でくらし続けるために、自分たちに何ができるか

*考えがまとまらない場合は、教科書 192 ページの「私の行動宣言書」を参考^{さんこう}にしましょう。